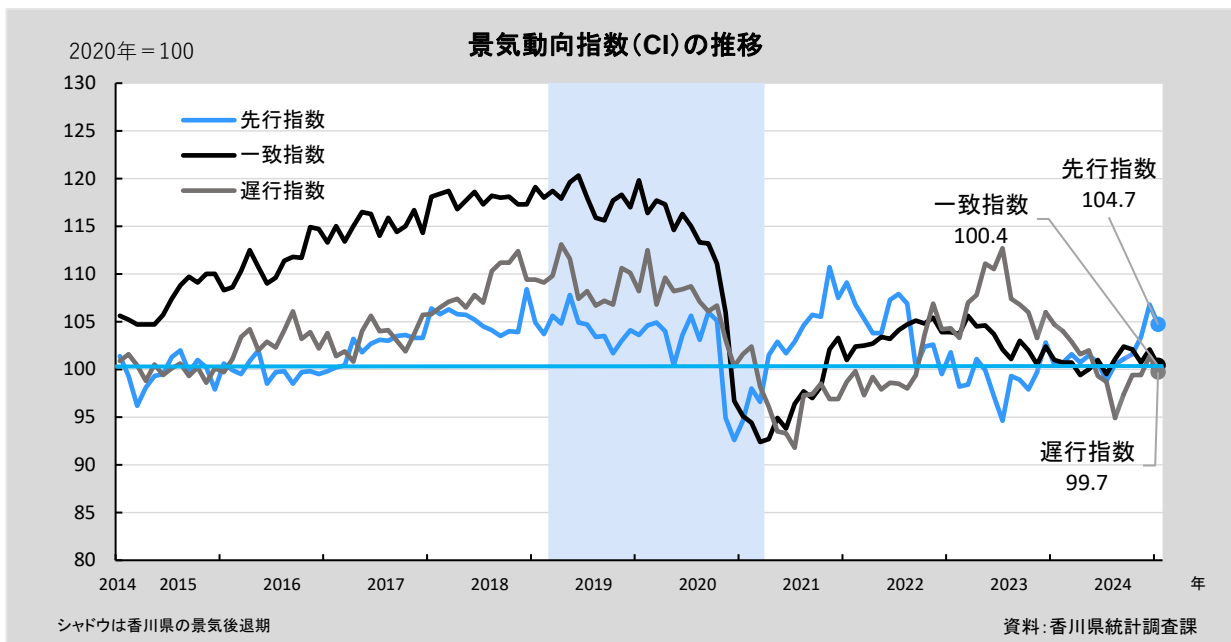


概況	緩やかに持ち直している。
個人消費	堅調に推移している。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出は減少、輸入は増加している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 2カ月ぶり下降



景気の現状をみると、6月のCI一致指数は100.4（前月比▲1.7ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI先行指数は104.7（同▲2.1ポイント）と6カ月ぶりに下降。CI遅行指数は99.7（同▲1.7ポイント）と5カ月ぶりに下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、有効求人倍率、所定外労働時間指数等が下降に寄与し、前月から1.7ポイント下降となった。

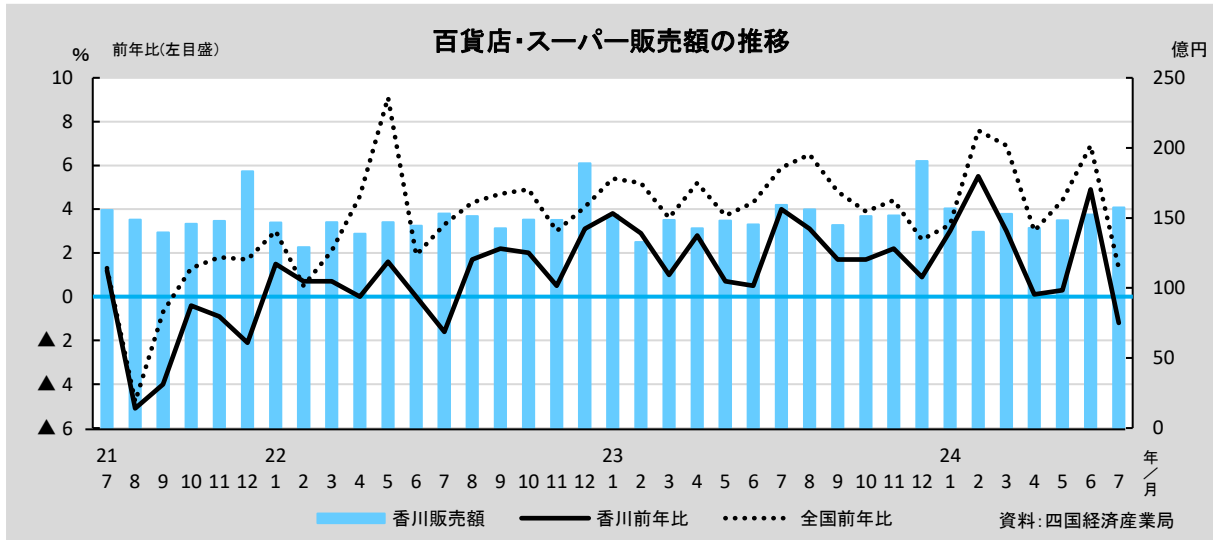
	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用景気指標	1 新規求人数	▲ 1.93	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.37	1 常用雇用指数	0.39
	2 乗用車新車登録台数	1.30	2 有効求人倍率	▲ 0.72	2 有効求職者数	0.04
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.32	3 所定外労働時間指数	▲ 0.67	3 消費者物価指数	▲ 0.65
	4 生産財生産指数	▲ 0.70	4 鉱工業生産指数	▲ 0.59	4 家計消費支出	▲ 1.65
	5 新設住宅着工戸数	▲ 0.28	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.24	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.13
	6 金融機関貸出残高	0.07	6 建築着工床面積	▲ 0.01	6 法人事業税調定額	0.07
	7 消費者態度指数	0.06	7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.91	7 第3次産業活動指数	0.50

## 個人消費

堅調に推移している

### ●百貨店・スーパー販売額

24カ月ぶり減少 ↓

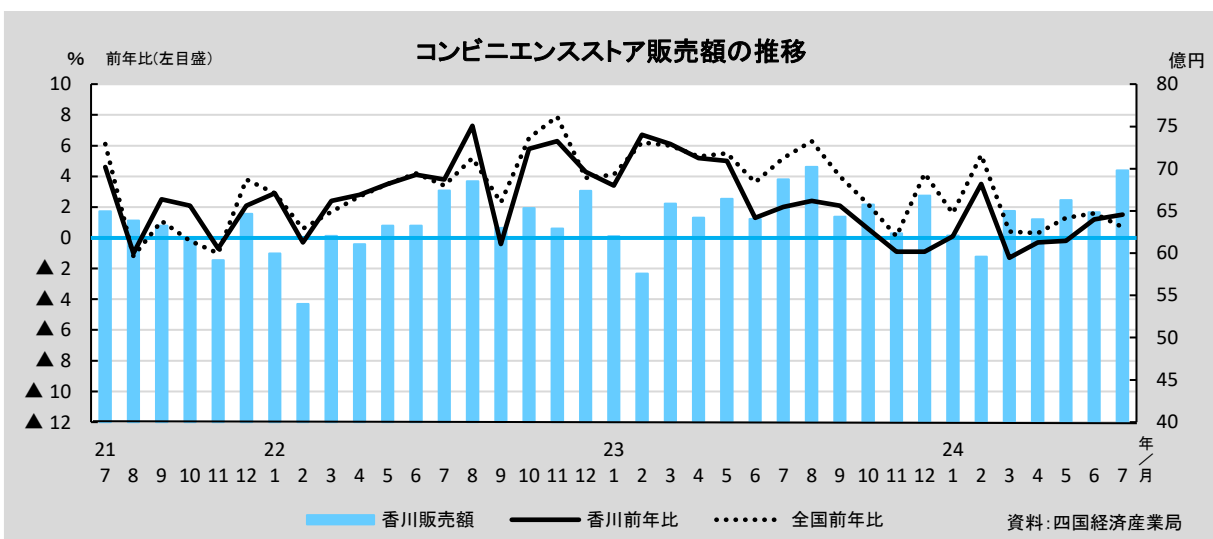


2024/7月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	106,179	73,707	1,162,457	2,273	6,289	73,606	148,798	621	1,573,930
前年同月比(%)	▲ 8.4	5.4	0.0	▲ 13.3	▲ 3.7	1.1	▲ 8.1	▲ 4.5	▲ 1.2

7月の百貨店・スーパー全店(83店)の販売額は157.4億円で、前年同月比▲1.2%と24カ月ぶりに減少した。「衣料品」は紳士服や子供服などが伸び悩み同▲8.4%、「その他の商品」は衛生用品などの動きが鈍く同▲8.1%となった。一方「身の回り品」は同+5.4%と増加した。

### ●コンビニエンスストア販売額

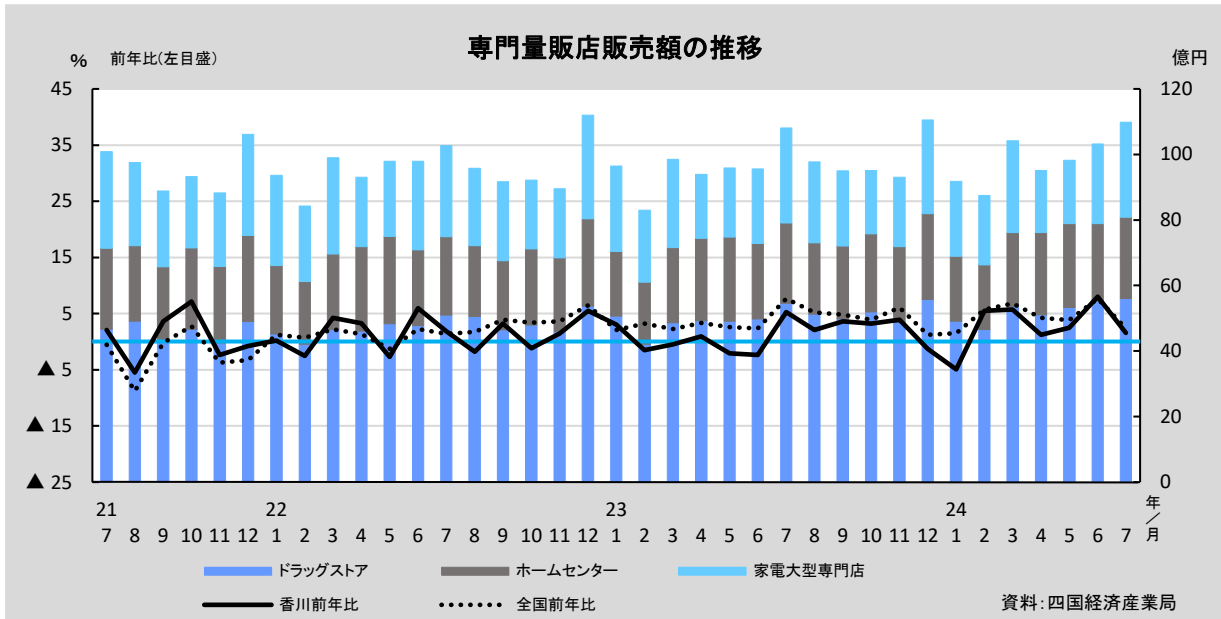
2カ月連続増加 ↑



7月のコンビニエンスストア全店(403店)の販売額は69.8億円で、前年同月比+1.5%となり、2カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

6 カ月連続増加

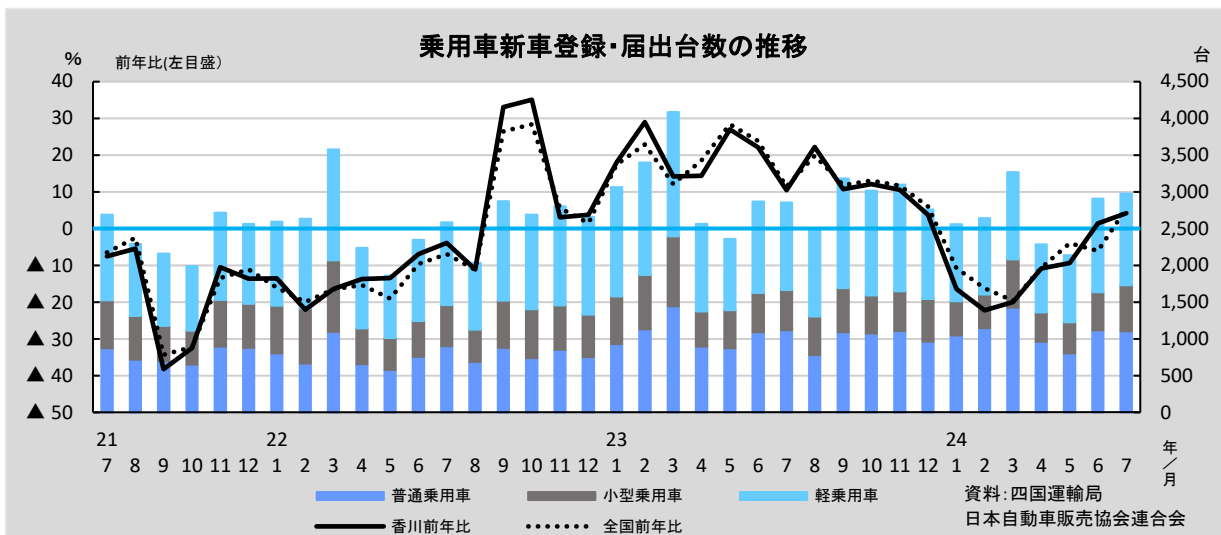


7月の専門量販店全店（222店）の販売額109.8億円で、前年同月比+1.6%と6カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（28店）の販売額は、29.0億円で前年同月比▲0.0%となった。**ドラッグストア**（147店）の販売額は、56.0億円で同+2.7%となった。**ホームセンター**（47店）の販売額は、24.8億円で同+1.0%となった。

●乗用車新車販売台数

2 カ月連続増加



7月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,976台で、認証不正問題の影響が緩和し、小型乗用車や軽自動車の販売数が回復したことにより、前年同月比+4.2%と2カ月連続で増加した。

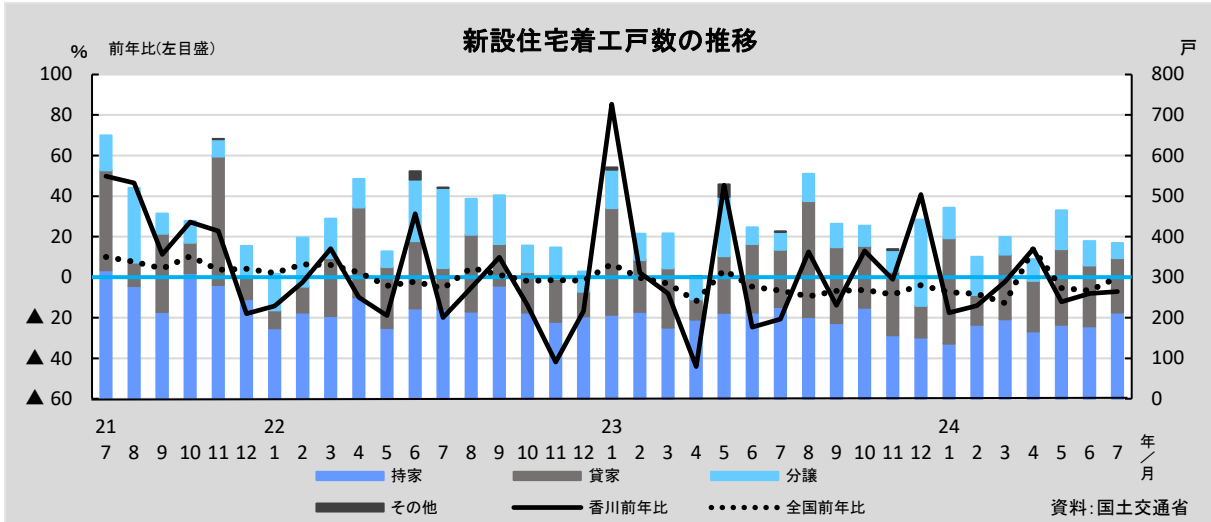
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比▲1.1%、小型乗用車は同+13.8%、軽乗用車は同+4.7%となった。

## 住宅投資

低調に推移している

### ●新設住宅着工

3カ月連続減少 ↓



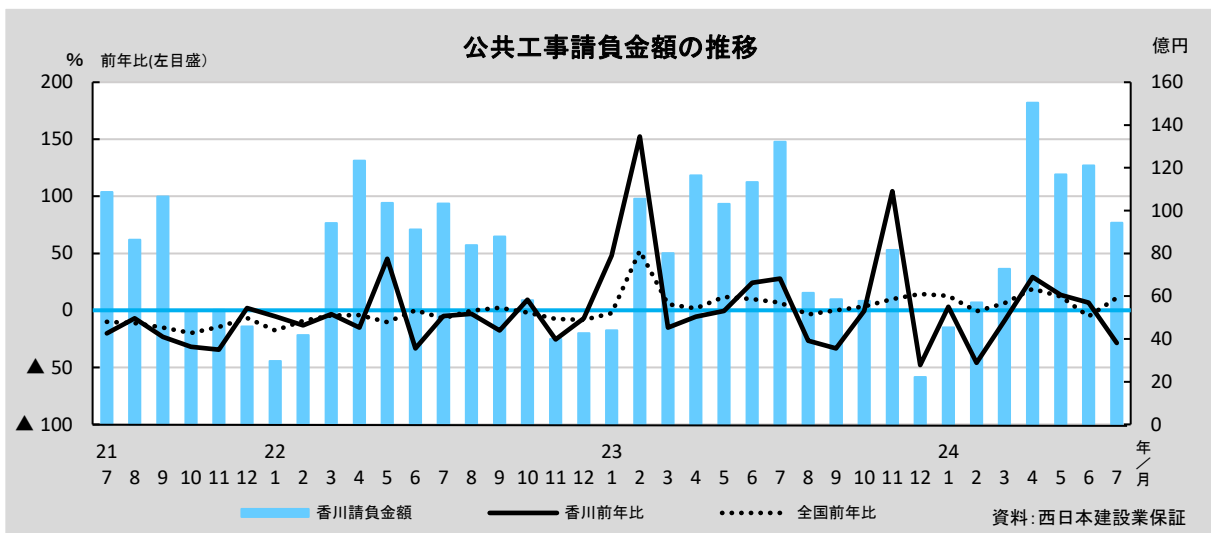
7月の新設住宅着工戸数は384戸で、前年同月比▲7.0%と3カ月連続で減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲5.8%、**貸家**で同▲5.6%、**分譲住宅**で同▲15.9%となった。

## 公共投資

持ち直しの動きがみられる

### ●公共工事請負金額

4カ月ぶり減少 ↓



7月の公共工事請負金額は94.3億円で、前年同月比▲28.6%と4カ月ぶりに減少した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲29.5%、**県**で同+27.5%、**市町**で同▲50.8%となった。

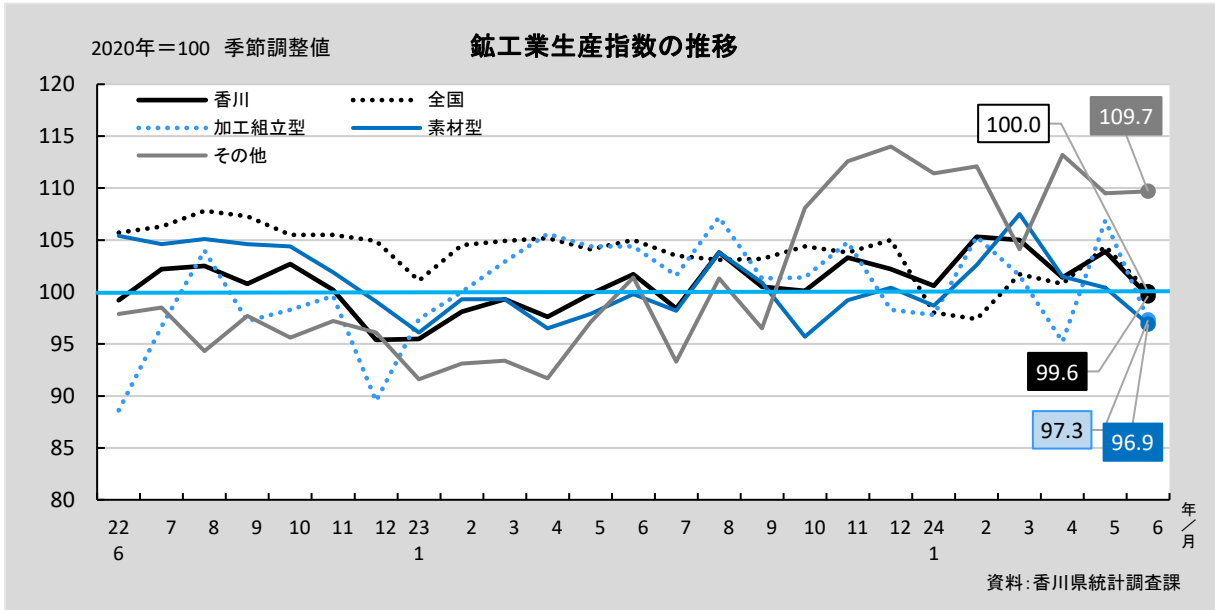
2024.4月～7月の累計では前年同期比3.8%増加している。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2 カ月ぶり低下 ↓



6月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は99.6（前月103.9）となり、2カ月ぶりに低下した。

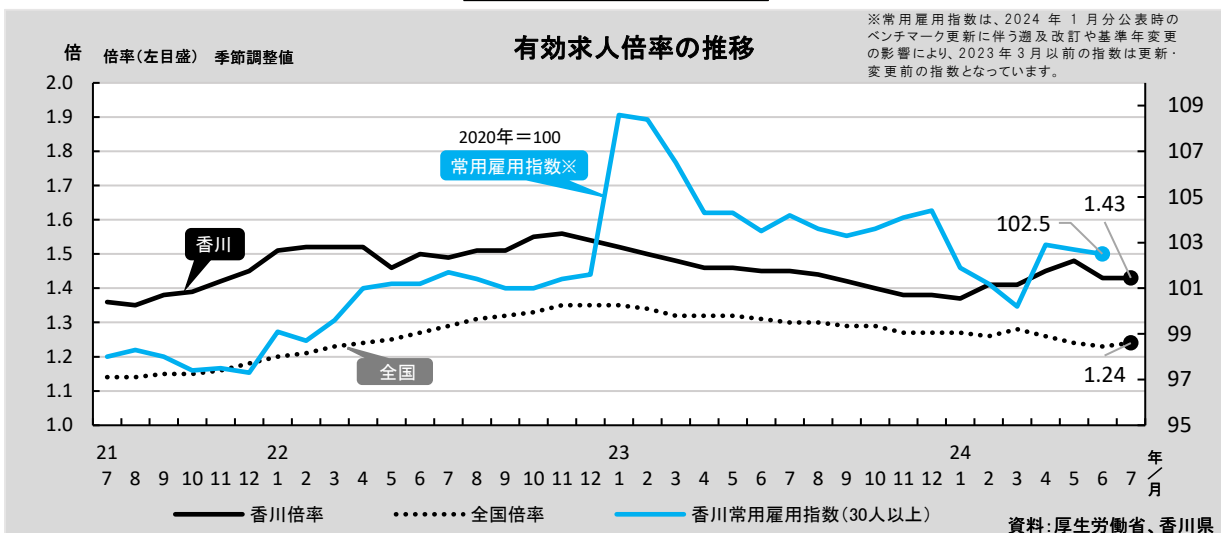
業種別では、加工組立型の汎用・生産用機械工業（建設用クレーンなど）は前月比▲13.4%、加工組立型の輸送機械工業（鋼船など）は同▲13.5%と低下した。一方、加工組立型の電気機械工業（開閉制御装置など）は同+4.2%と上昇した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

前月と同水準 →



7月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.43倍（全国7位）で前月と同水準だった。

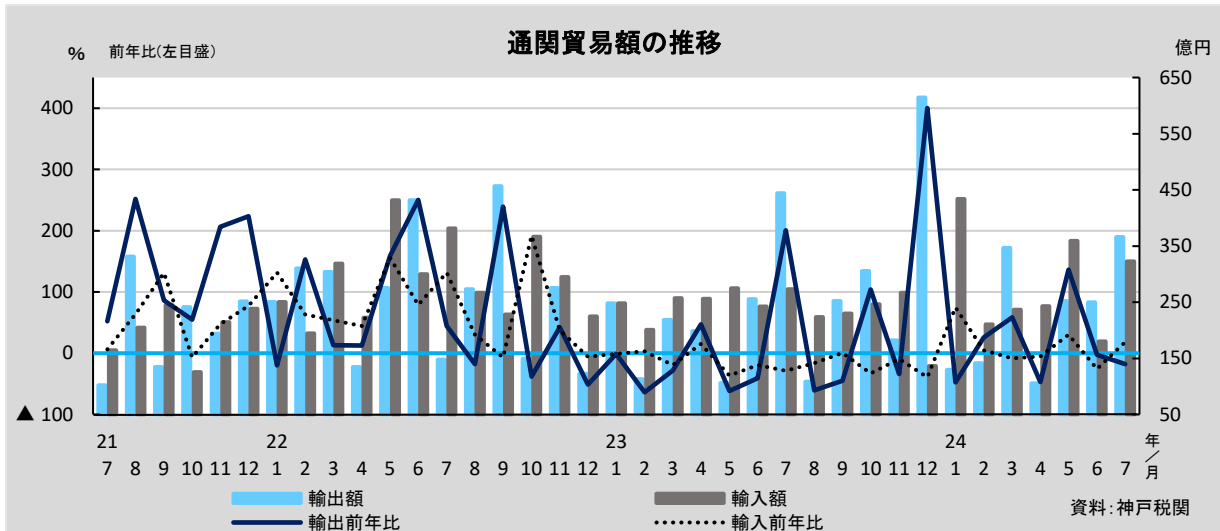
新規求人（原数値：前年同月比）は、医療・福祉、サービス業（他に分類されないもの）、建設業等で増加となり、全体で+0.5%と2カ月ぶりに増加した。

6月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、102.5となり、前年同月比は6カ月連続で減少した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	1.95
事務的職業	0.57
販売の職業	2.25
サービスの職業	3.31
生産工程の職業	2.49
輸送・機械運転の職業	2.43
建設・採掘の職業	6.34
運搬・清掃・包装等の職業	1.18

## 貿易

輸出は減少、輸入は増加している



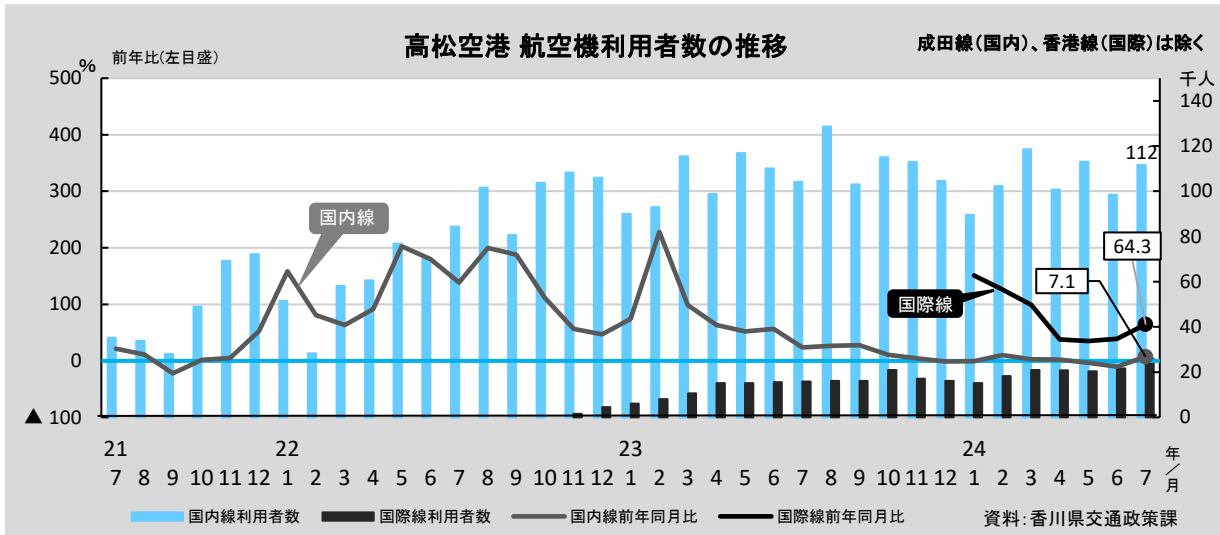
7月の輸出額は前年同月比▲17.6%の366.3億円、輸入額は同+18.2%の323.0億円となり、差し引き43.3億円の出超となっている。

輸出は、貨物船輸出額が前年同月比▲19.7%の271億円となった。輸入は、石炭輸入額が同+24.9%の136億円となった。

## 交通

国内線は3カ月ぶり増加、国際線は9カ月連続増加

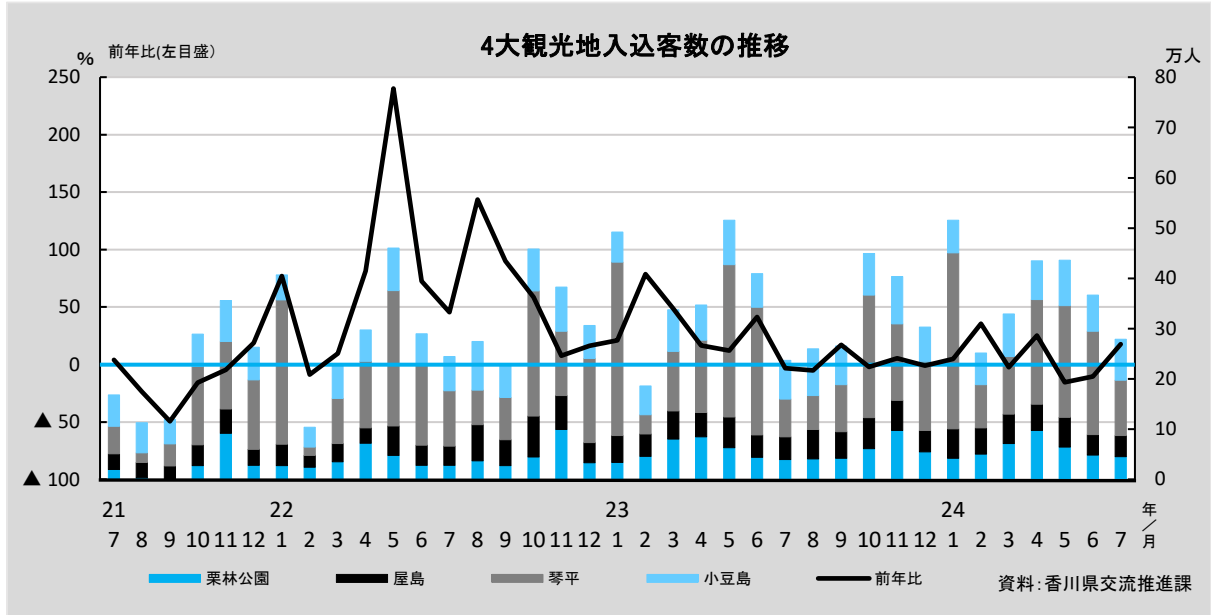
### ●高松空港旅客輸送実績



7月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が111,654人(前年同月比+7.1%)となり、3カ月ぶりに増加した。羽田線は101,462人(同+5.3%)、那覇線は10,192人(同+28.8%)となった。

国際線は、ソウル線14,554人(同+32.2%)、上海線5,830人、台北線5,572人(同+16.2%)で合計25,956人(同+64.3%)と9カ月連続で増加した。

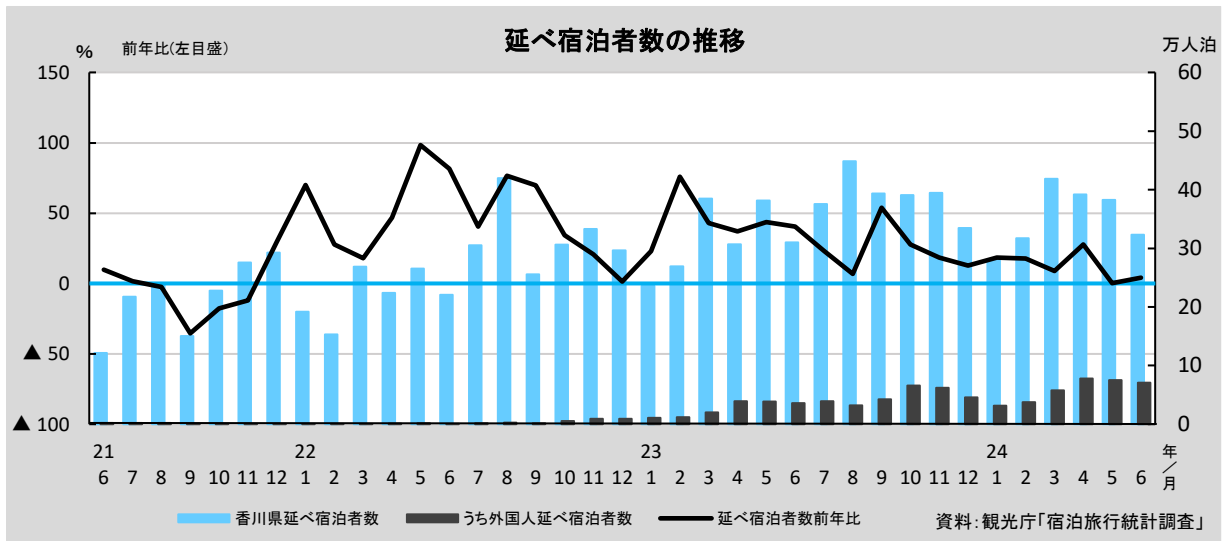
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計					
7月(人)	前年同月比	45,238	15.3%	42,032	▲7.6%	110,000	46.7%	81,362	5.9%	278,632	17.8%
1~7月累計(人)		419,322	7.2%	362,867	2.5%	1,297,000	1.6%	534,019	6.4%	2,613,208	3.5%

7月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+17.8%と3カ月ぶりに増加した。栗林公園は前年同月比+15.3%、琴平は同+46.7%、小豆島は同+5.9%と増加した。一方、屋島は同▲7.6%と減少した。1~7月の累計では前年同期比+3.5%となった。

●延べ宿泊者数



6月の延べ宿泊者数は323,490人で、前年同月比+4.2%と31カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数70,550人となり、前年同月比+96.0%と23カ月連続で増加した。